

小学1年 ①

おう

みぎ

ひだり

た

おとこ

1 さまの と に っている に

ま

をつけなさい。

あめ

ひ

た

みず

い

2 の には に を れます。

こ

いぬ

くるま

3 を にのせてあげなさい。

もり

うえ

そら

つき

み

4 の の に が えます。

はな

び

おお

おと

みみ

5 の きい が にとどきます。

小学1年 ②

ご えん だま

1 には、 この がありました。

きゆう も じ

まち なな ひやく にん おどこ

2 には、 の がいきました。

むら はち じゆう いち にん おんな

3 には、 の がいます。

はやし き した な くさ

4 の の には もしらない がはえて

います。

て

くち

はや

さき

で

1 を にあてて、
 く に なさい。

むし

ろっ

ぼん

あし

2 には、
 の がある。

やま

かわ

なか

しろ

かい

3 の の に い がいます。

しょう

がつ

こう

さん

ねん

せい

よ

にん

ちから

4 が 、 いっぱい

はしつた。

1 つち から たけ が に ほん、 で ています。

2 ゆう が た はや く やす む の は ただ しい こと です。

3 あま の がわ は、 せん この きん の いし の よう です。

4 あか と あお の いと は よく め だ つ。

かつ か り か しや かい

1 生 は三年から や になります。

ず が じう さく いく じ たの

2 や 、 も しい。

くみ ちや いろ うし つの

3 一 の の の がおいてあります。

は あか どう さい なん ぼく

4 空が れて るいと、 がよく見える。

1

ふゆ

は

まご

日、

ゆき

がふつて、

大

ち

は白くなります。

2

なつ

の

ひる

の

くも

の

かたち

がおもしろい。

3

あね

は

ご

ご

に

き

しや

で

かえ

つて

き

ます。

4

いま

は、

かい

がい

とも

ちよく

つう

で

でん

わ

できる。

1 ひろ の はら はし うま に、 ゆみ や を ひ くのを、

女の人 と が めました。

2 はる あさ き いろ はね とり な の に、 の の が いていました。

3 あき よる ほし なん まん の には が も見えます。

4 おとうと なん さい し が か りません。

かあ

もい

しん

ぶん

よ

1 お さんは、 から をよく みます。

さかな

こく

むぎ

こめ

た

2 や や や を べ ましよう。

いもとう

まる

がお

くび

ほそ

3 は で が い。

じ

ぶん

おも

おお

かみ

か

4 の いの くを に きなさい。

しゅう かん

よう

1 一 は七つの 日があります。

かたな

う

か

2 は っても ってもいけません。

さん

すう

とき

けい

さん

こた

ほん

ぶん

3 の に した えの は

あ

っているはずです。

あに

からだ

ふと

こえ

4 わたしの は が大きいので、 い が出ます。

1 の が、 くなったり

こう じょう ない ひかり つよ

よわ

くなったりします。

とも みせ ちか こう えん なん かい うた

2 は の くの で も を

うた

います。

とお うみ え きょう しつ

3 くの の が にある。

てら まえ しろ いろ いわ

4 の に い の があつた。

よう

どう

きょう

い

き

か

1 があつて に つたとき、日 を いた。

さと

いえ

と

ふる

たか

もん

あたら

2 の の は いが、 い は しい。

かぜ

つよ

こづ

つう

ある

3 が いので、 に気をつけて きなさい

はは

い

と に おれました。

たに

い

みち

し

ばん

なが

4 に く は、 の中で一 い。

かんが

ふね

ところ

あ

1 よく えると、その に たりがあります。

だい

でん

ち

おお

2 の上にあつた、 の くは

き

れていました。

ちち

おや

あたま

け

すく

3 の の は ない。

おな

ほう

てん

せん

4 じ に を でつなぎなさい。

は

1 がいたいのので、

の が した

びょう いん い しゃ し てい

やっ きょく

に行った。

よう ひつじ あそ

2 太 の下で と んでいる。

き たい し しゅ しゅう し

3 されたが、一点を するのに した。

きょう きい れい かみ さま ふえ

4 中の では、 のために をふく。

と けん しゅう

5 日本の や は、アメリカの にあたる。

くん

しゅ

わ

ふく

よう

ふく

1

に、

か

どちらを

き

てい

ちよう

もう

るか

に

し上げた。

かん

ぱ

おん

ど

2

ひどい

で

が下がり、

きゅう

そく

こおり

に

がはった。

い

いん

せ

かい

びよう

どう

もん

だい

3

会で、

中の人

の

に

い

はん

たい

ついて、

見を言ったが

された。

とう

きゆう

れん

しゆう

とう

ばん

だい

だ

1

せずに

したので、

に

かる

う

けつ

しゆう

ま

く

たれ、

で

けた。

てつ

きゆう

きよく

めん

や

ね

2

に

の

をつけるのは、

く

やく

しよ

だい

し

めい

の

一の

の

だ。

しゆう

わ

だい

あく

い

も

あん

ごう

3

時

に、

を

って

を

てい

つい

ほう

べた人が、

国外に

された。

しよくぶつ よう りよく はい れつ

1 の 体の や、

しん か けん きゆう たす

の で けてもらった。

ぞく かん おう いく かん みじか かい しき

2 水 と中 体 で い 会 を行った。

のう ぎよう しょう ぎよう りよう めん ちよう せい

3 と の から しないと、

み うご

きができなくなる。

じよう いん いん しゆ うん てん みずうみ たい がん

4 が で、 の の

みなと む

に かうわけがない。

た

こう

ぶく

よこ

ど

つい

ほう

1 人の を りするような人は されるべきだ。

えき

かかり いん

じょう きやく

たび

あん ぜん

そう だん

2 で が の の について していた。

はこ

にわ

はたけ

し

ごと

かわ

3 のような で をしても、手の がむけてしまう。

しま

まめ

あぶり

ゆ

4 その では を作り、 であげたり でにたりしているが、

あじ

はつけない。

じつ かな こと ほか さか お

1 に しい だが にも、 から ち、

ち なが くる

を して しんでいる人がいた。

みで しよう よ しゆう

2 で文 を書く をしなさいという

しゆく だい

があつた。

おも に もつ ぶ ひん はっ そう

3 い の を したが、

う と へん じ

け ったという がない。

1 デジタルカメラの を した。

おもて

ろ

ぎん

さび

ぐ

ひろ

2 の道 で の を作る道 を った。

すみ

ちゆうい

むかし

こ

はしら

3 やけた を して見ると、 の書 の だった。

あつ

はな

いき

4 さのせい、 があらい。

お

びよう

ゆう

どう

べん

5 きるとすぐに をおしんで 名な 話について 強を

した。

1 いつもの何 も くもぐつて ぐ理 がない。

ばい

ふか

およ

ゆう

かい

きゅう

ちよう

も

2 二 にある三年の学 の日記 を って

い
く。

せい

す

うつく

3 に む家は しい。

かん

し

しゅう

かん

そう

4 その の を言った。

1 ふ かく りく ぐん の へい たい ほう い にも の に されたが、

せん そう やぶ に れたわけではない。

2 ねっ たい こう あい こう の を している。

3 いわ しょう ばい ひっ よう だ。 い事は 竹 が だ。

4 さく けい かん がい たて しょう しっ 年、 を する 物が した。

1 物を運ぶ 行 も、 空 の一 だ。

2 会は、 に する を めた。

3 その生物の数は 一 上、一 と言われる。

4 工に な を める。

5 な は早く すべきだと えられた。

か りん しょう

1 □ □ わった歌の □ □ を聞いた。

ど けつ か ねん がん ひょう たつ せい

2 □ □ 力の □ □ 、 □ □ の目 □ □ を □ □ した。

ざん ばん ふん まつ き かい かん せい

3 □ □ を □ □ にする □ □ が □ □ した。

ふ ろく し けん かん つ

4 □ □ に □ □ が □ □ いてくる。

ふく じん みるん よろこ ぎ あん れん ぞく

5 □ □ 大 □ □ は、国 □ □ が □ □ ぶ □ □ を □ □ □ □ して作った。

れい せい き ぼう せき じゆん

6 □ □ □ □ に考えれば、 □ □ □ □ 通りの □ □ □ □ にはならない。

じ てん とつ くん

1 の使い方を した。

れき し てき せん きよ しん ねん さ べつ

2 で、 を持って に反対する人が

とく ひょう

多く した。

さい しょ やく そく かん はた い ち っ

3 の とは 係なく、 の が げられた。

きよう

4 みんなと 同して、 後の風 を くしよう。

ほう か き よ

すく もと な とく れい

1 いを めて く人々にも はない。

なか はか せ ちよ か か

2 のいい は 金が日 という わり者だ。

む りん てい お

3 理に車 を 止させると、じくが れてしまう。

えい いん さつ さつ たば

4 語で されるお が になっている。

かた げい しゅう へん さん か わら

5 にはまらない 人が、 の 者を わせている。

ひく きゅうりょう ひ しゃつ

1 □い□□で学□が足りず、□金をした。

どう がわ がい とう て

2 □の内□まで□□が□らしていたので、

がい ちゅう かん さつ

□□の□□ができた。

せつ きよく てき まじ そつ

3 何にでも□□□□だった□が□業した。

しお ひつ よう えい よう

4 □も□□な□□だ。

つめ ぜん な め りょう

5 風は□たいが、自□□に□□の花の□□が大□□に出ている。

ゆう

1 □ □ 気を出して □ □ □ □ 走に出るよう □ □ □ □ する。

と

きよう

せう

とく

そう

2 □ □ 庫に □ □ が □ □ い □ □ 箱がある。

そこ

あさ

す

ろう

き

せつ

か

3 その □ □ 人は □ □ □ □ の □ □ わり目には、

みやく

ぼく

せい

よう

山 □ □ のふもとの □ □ 場で □ □ □ □ する。

ゆかた

じ

かがみ

4 □ □ □ □ を着た □ □ 童が □ □ の前に立っている。

せい

せい

しょう

5 反 □ □ して書いた □ □ 書が入 □ □ した。

1 ぐん の名 し の ふ 人が、 ぞう の出 さん に きよう 力してくれた。

2 し ほう 長 かん に し 名を つた える。

3 たん に かた いただけの うつわ を落とすと、 か けたり と び ち ったりしやす

4 かつ 国が きよう 力して、 さつ 人の どく ガス へい き をなくすことに

せい こう した。

5 半 けい り 五キロの中だけで、 せう ができる。

小学5年 ①—①

ぶ

1 力を使う に対して、 力で立ち向かった。

あつ

せい

ふたた

ひ

ぼう

ぜい

せい

ぶく

ぎつ

こう

ぞう

かい

2 の な が理 できない。

はん

ざい

おか

かく

しょう

3 かれには を した がある以上、

しゃ

ご

ぎ

む

する がある。

かへり

ほ

ご

ぎ

ごめつ

こう

め

4 を する について した。

わこ

ぶ

よ

さん

5 の中のお金を 金することに 成だ。

1 国 的 な 正 で、
 物 を する がある。

2 その指 者 は 満 の た め に し よ う し、
所 する チ ー ム を

かい に ン された。

3 出 場 を 得 る た め、
 な り を 進 め て お き た い。

4 を 出 し を 言 っ た こ と が 原 で、
 さ せ ら れ た。

1 大□は、□遠えいに流れていると想ぞう□できる。

2 □部かんとなるべき人は、□と□と□と□を問もんわれる。

3 かれが□集へんした本ほんが□□として出で□ぞうされた。

4 □てきから□土りようを国きよう□ぼうで□□えいするには、□□ぶだけではだめだ。

5 □□ほうな□金ふで業し□せきを回ふく□し、

その利えき□こを□人かに□し出した。

1 良 の 品が から見つけた。

2 に ている 人に年 を出した。

3 な 動が原 で していると された。

4 士になることを 見ている 員がいる。

5 人の に をつけてはならない。

とく

1道□□的な人は、きちんと年□□□を出すものだ。

が じょう

えき

2 □□体が変化する□□□を□□定する。

か てい そく

げん

ざい

げん

じょう

ほ

ぞん

こ

けい

か

3 □□□、□□□を□□□し、事□□の□□□を調べている。

しょう

おん

し

えん

ぎ

ひょう

か

ぜっ

さん

4 □□待した□□□に□□□を□□□してもらったら□□□された。

まよ

ぼ

おう

ふく

5道に□□い、あの□□地まで□□□してしまつた。

か せつ き しゃ ぞう ちく かい てき

1 の 宿 も をすると になった。

さん そ ま ひ りつ そく てい げん

2 の じる を すると 少していた。

ぼう えき そう がく ゆ ぞう

3 の は、 出入とも 加している。

がん わざわ さかい

4 近 が いして、 が見えない。

けつ しよう ぞく だん ぎやく こつ

5 身の 白を 明するため、 で動いたが 果だった。

1 教に 味を持ち、 しく れた家を出て 行した。

2 会社に 用されず、集まった 集は 悪だった。

3 を 一な さに する を 業で べた。

4 山の についての を りたい。

5 いを える前 が、 実に対 したものではありません。

1 そ 先は ま しかつたが、 よ 分に米一 び 買うくらい ぜ の はあつた。

2 親が る 守の間も、 し 育と こ 作をしなくてはいけな い。

3 え に せ する葉は り してえが や いた。

4 出 ち して、もの も え方 よ に関する内 こ で き を行 った。

5 き そ を守 た らない 度 し の人 と いると、意 し 一 と は き でき な い。

せい いき

1 なき改 で民 に が走ることに がある。

かく

しゅう

げき つう

い ろん

そん けい

2 する 軍が、 にいる。

しやう

しろ

はい

こ きゆう

ぞう

3 は のための 器です。

けい

う

ちゆう

ひ

みつ

4 銀河 の を知りたい。

とう

こん

なん

しよ

ぜん

しよ

しや

5 をこえ、 な 問題に したい。発 開始。

しゅう は

1 その では天より したキリストを む。

こう たん

おが

めい

ばく

のぞ

のぞ

2 同 して倒 に んだ人が かれる。

はい

ゆう

あな

ぐら

かん

すん

げき

3 が の中で 単な をした。

のう

こう

こう

へい

たから

いただ

4 天 、 、 両 下から を き、

き

ふん

こう

ちよう

族は興 でほおが していた。

1 法 に わない 評家の いが かれる。

りつ

したが

ひ

うたが

さば

2 品川 で めたことを、
 では している。

しよ

みと

けい

し

ちよう

ひ

にん

3 々は、
、、 などの心を大切にし、

われ

じん

ちゆう

こう

をおさえて 実に生きよう。

よく

せい

4 金の高い 式会社に 職し、長く められる者は 名だ。

ちん

かぶ

しゆう

つと

じやつ

かん

5 や 物の生産は安全保 の問題でもある。

さ

どう

こく

しよう

1 や が ついた人を 護した。

ふっ きん せ ぼね きず かん

2 内 の指 が 大すると ない。

かく き けん かく あぶ

3 くなつた人の 言と衣 が 便で自 に いた。

な ゆい しょう ゆう たく とど

4 日、 の上に べてあつた を っつて った。

よく つくえ なら たまご あやま わ

おきな

1 いうちから、 の安い のノートでも、

ね だん

さつ

す

むだに てさせないようにしている。

く

ばん

わす

てん

らん

2 日が れ、 になったことも れ、 会用の

そう

せん

作品 作に 念した。

ほん

か

し

ろう

たん

3 二 の人が の 読を 当する。

ひ

みつ

うら

かた

まど

し

4 を守るため、 の 方の を めなさい。

1 けん法では主 けんが国民に そんすることをする せん言している。

2 その子 どもの えん命対 さくは一 こくを争った。

3 あたたかくなって さかんに じよう発した水が、 じゆ木から たれている。

4 方位 じ しんに したがって そうし、 じゆう

こう 空港に向かつて すい下したと 察される。

5 わたくしの心は のうではなくて むねにある。

しゆく しやく

まい

しゆう のう

1 その では一 の地図に できない。

ちよ

きよう

たん

ぼう

そ

2 者の故 を するため、川に って歩いていくと、

げん

せん

いた

に った。

きび

おのれ

えい

かん

はい

3 しいことだが、 のミスで 画一 が になった。

そう

こう

ぼう

4 古い地 から、 鉄の などが見つかった。

1 内 が起きた について、 上で した。

ほ じゆく す

2 習で 語の勉強が んだ。

すわ えん そう すがた も

3 っ て する を した像がある。

かいこ じゆん けん にゆう そ あら

4 が作った を 白色に め、 った。

1

○

2

○

3

○

4

○

5

○